

平成28年8月19日

ハウステンボスグループ 平成28年9月期第3四半期の業績について

ハウステンボス株式会社（本社：長崎県佐世保市）とグループ会社の平成28年9月期第3四半期の連結業績は以下の通りとなりました。

【平成28年9月期第3四半期のグループ連結業績】

（平成27年10月1日 — 平成28年6月30日）

単位：百万円

| ハウステンボスグループ | 前期 2014.10月～2015.06月 | 当期 2015.10月～2016.06月 | 差異 | 前年比 |
|-------------|-------------------------|-------------------------|--------|--------|
| 取扱高 | 25,512 | 24,282 | -1,231 | 95.2% |
| 売上原価 | 6,279 | 6,010 | -269 | 95.7% |
| 売上総利益 | 19,233 | 18,271 | -962 | 95.0% |
| 販売費および一般管理費 | 12,659 | 13,248 | 589 | 104.7% |
| 営業利益 | 6,575 | 5,023 | -1,551 | 76.4% |
| 経常利益 | 8,150 | 3,982 | -4,167 | 48.9% |

- * ハウステンボス株式会社、株式会社ラグーナテンボス、ハウステンボス技術センター株式会社、エイチ・テイ・ビー観光株式会社、HTB エナジー株式会社、HTB クルーズ株式会社、テンボスクルーズパナマ SA の7社計。
- * 営業外費用に為替評価損を1,800百万計上しています。前年は762百万円の為替差益を計上しています。
- * 簡易的な方法により作成し、監査法人のレビューは受けておりません。

【平成28年9月期第3四半期のハウステンボス株式会社（単独）業績】

（平成27年10月1日 — 平成28年6月30日）

- ・ 入場者数 2,102千人（前期比 92.0%）
- ・ 内 海外客数 155千人（前期比 85.6%）
- ・ 宿泊者数 220千人（前期比 90.8%）

単位：百万円

| ハウステンボス(単独) | 前期 2014.10月～2015.06月 | 当期 2015.10月～2016.06月 | 差異 | 前年比 |
|-------------|-------------------------|-------------------------|--------|--------|
| 取扱高 | 22,069 | 20,590 | -1,479 | 93.3% |
| 売上原価 | 5,008 | 4,684 | -325 | 93.5% |
| 売上総利益 | 17,060 | 15,907 | -1,154 | 93.2% |
| 販売費および一般管理費 | 10,411 | 10,512 | 101 | 101.0% |
| 営業利益 | 6,649 | 5,395 | -1,255 | 81.1% |
| 経常利益 | 7,191 | 4,378 | -2,813 | 60.9% |

15年ぶりに入場者数が300万人台に回復する結果となった前期に引続き、当四半期においても「花の王国」「光の王国」「音楽とショーの王国」「ゲームの王国」「健康と美の王国」と5つのイベント

軸を中心に展開するとともに、第6の王国「ロボットの王国」のプレオープンをはじめ3世代でお楽しみいただける多様なイベントを実施しハウステンボスの体験価値の向上に注力しました。

10月には「世界フラワーガーデンショー」、11月からは世界最大級1300万球「花と光の王国」をスタート。今年初登場の高さ日本一66mの「光の滝」、同じくイルミネーションの光の海へのダイブを体感いただける「光のバンジージャンプ」、そして前期よりご好評をいただいている「光と噴水の運河」と充実したコンテンツで全国の夜景鑑賞士による3年連続日本一の評価に相応しいオンリーワン、ナンバーワンの光の世界をお客様にご堪能いただきました。大晦日のカウントダウンイベントでは、現経営体制発足以来大晦日では初めてとなる3万人を超えるお客様をお迎えしました。

1月以降も仮面舞踏会カーニバルや国内最多700品種のチューリップ祭、ホログラムシアターのリニューアル等を行いました。

ゴールデンウィーク以降は今夏から開催予定のロボットの王国のプレイイベントを中心に、世界花火師競技会世界予選、毎年ご好評をいただいているバラ祭を開催しました。

6月以降も昨年好評だった雨の日限定ポンチョ配布、アンブレラストリートの展開を始め、あじさい祭には竹灯りの演出を追加。大ゆり展も日本最多の300品種と内容を充実させました。

上記取り組みの結果、第2四半期までは入場者数は前年同期比97.9%の1,568千人とほぼ昨年と同水準を維持していましたが熊本地震の風評被害により4月以降は前年実績を下回る状況が続き、第3四半期累計の入場者数は前年同期比92.0%の2,102千人との結果となりました。

取扱高は前期に実施した大阪城でのイルミネーションイベントを当期は実施しなかったことと入場者数同様に震災の影響により同93.3%の20,590百万円との結果となりました。

営業利益は同81.1%の5,395百万円、経常利益は為替評価損1,503百万円を営業外費用に計上（前年同期は123百万円の為替差益を計上）した結果、同60.9%の4,378百万円となりました。

尚、連結子会社TEN BOSCH CRUISE PANAMA S. A. が所有している船舶について収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、同社の親会社であるHTBクルーズ(株)に対する債権および株式の評価損2,632百万円を第2四半期終了時点で特別損失に計上しています。

【ハウステンボス株式会社（単独） 平成28年9月期通期業績見通しについて】

- ・ 入場者数 310万人 （前期比 100%）
- ・ 売上高（取扱高） 297億円 （前期比 100%）
- ・ 経常利益 75億円 （前期比 80%）

* 当期に計上した為替差損を反映しています。また震災の影響による交通インフラおよび九州全体の経済の回復の進捗次第に拠るところも大きく、予測が大変困難な状況です。

《ニュースリリースについてのお問い合わせ先》
ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野裕子
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025
<http://www.huistenbosch.co.jp>